

2018年9月21日  
第105号

# 全労連 憲法 平和闘争ニュース

全労連  
憲法・平和グループ

## 核兵器のない世界の実現を!

### 日本原水協が大使館要請

9月20日、核兵器禁止条約の署名式典が米ニューヨークの国連本部で開かれてから1年。日本原水協は、国連「核兵器の全面的廃絶のための国際デー」が26日に行われることにあわせ、核保有国への働きかけを強めようと、イギリス・ロシア・フランス大使館への要請行動に取り組みました。「原水禁世界大会・長崎決議『長崎からの手紙』」を事前に送り、回答を求めました。調印国は60カ国、批准は14カ国となっています。

### 核抑止力論に固執する核保有国に、被爆国の願いを伝えよう

ロシア大使館への要請には、日本原水協、神奈川原水協、全労連、自治労連から6人が参加。はじめに全労連の長尾副議長が要請の趣旨を説明し、「被爆国として核兵器の完全廃絶を求めている。14000万発の核兵器があると言われては、使われることがあってはいけません。使われないためには、なくすことが一番。核兵器をなくすために、核兵器禁止条約への署名と批准、NPTで合意された枠組みをつくる努力を実行し、NPT6条の義務を果たすこと、中東非核兵器地帯についての会議開催の履行、核兵器の非人道性についての啓発を各国で実施していただきたい」と要請しました。



対応した書記官は「今年初めて広島を訪れ、展示を見て、被爆者の苦しみ、痛み、悲劇を学び、核兵器は使用すべきでないと感じた。大量破壊兵器の非戦闘員に対する無差別的な使用は、いかなる場合でも許されない。核兵器をなくすという願いは共有するものだ。NPTは6条(核軍縮交渉の義務を果たす)も含め支持する」と述べました。しかし、核兵器禁止条約について「条約への署名は目的につながるものではない。核兵器のない世界がすぐに作れるかはわからない。軍縮や紛争の解決に役立つものではない。条約への署名は、NPTの実現を妨げる」と発言。核兵器廃絶について「国際関係、政治から考えなければならない。核兵器をなくすということはできない。他の兵器も同じだ。核兵器と化学兵器など他の兵器を区別するのは反対。

核兵器は戦力の抑止力と考える」と、核抑止論を展開しました。「核兵器をなくす、ゼロにするための目標はないのか」との問いに対し、「タイムテーブルを作るのは無理。核廃絶・ゼロにするためには、今と違った国際情勢が必要」と述べました。

自治労連の松繁副委員長は「自治体労働者は戦前、国民を戦争に駆り立てる役割を果たした。今は、憲法のもと自治体は国に対しダメとものを言える。核兵器禁止条約への署名と批准について300を超える自治体が国にもっと積極的にやるよう求めている。1000人を超える首長が条約に賛同し、ヒバクシャ国際署名に協力している」と、実態を知らせました。

## NPTも核兵器禁止条約も大切なアプローチ

最後に全労連の長尾副議長が「核兵器禁止条約についての理解に違いはあるが、戦争を起こしてはならない、核戦争を起こしてはならない、核なき世界の実現という点では一致している」と述べ、「そのためには、NPTも核兵器禁止条約も大切なアプローチだ。2つの条約は矛盾するものではない。核保有国として、条約参加という決断をお願いしたい」と、再度要請しました。

## ★★★沖縄県知事選最終盤です! 勝利にむけカンパにご協力を!!★★★

★カンパ振り込み先

沖縄県労働金庫 本店営業部 普通預金 口座番号 2526028 沖縄県労連

### 【当面の行動】

**国連「核兵器の全面的廃絶のための国際デー」記念行動** 主催・日本原水協など11団体

●**国連・核兵器廃絶デー「ヒバクシャ国際署名」宣伝行動**

日時 9月26日(水)14:00～15:00

場所 新宿駅西口

内容 ヒバクシャ国際署名呼びかけ、リレートークなど

●**緊急集会「核も基地もない沖縄へ」**

日時 9月26日(水)19:00～20:30

場所 全労連会館 2階ホール

内容 「沖縄と核」について学習会

沖縄の最新情勢ネット中継

県知事選挙支援参加報告など

チラシ→<http://www.antiatom.org/page/index.php?id=346>

### 「原子力空母はいらない! 10・14 横須賀集会」

日時 10月14日(日) 13時開会(12時開場) 14時デモ行進出発

場所 横須賀市ヴェルニー公園

主催 安保破棄中央実行委員会

安保破棄神奈川県統一促進会議

原子力空母の母港化を阻止する三浦半島連絡会

※雨天決行